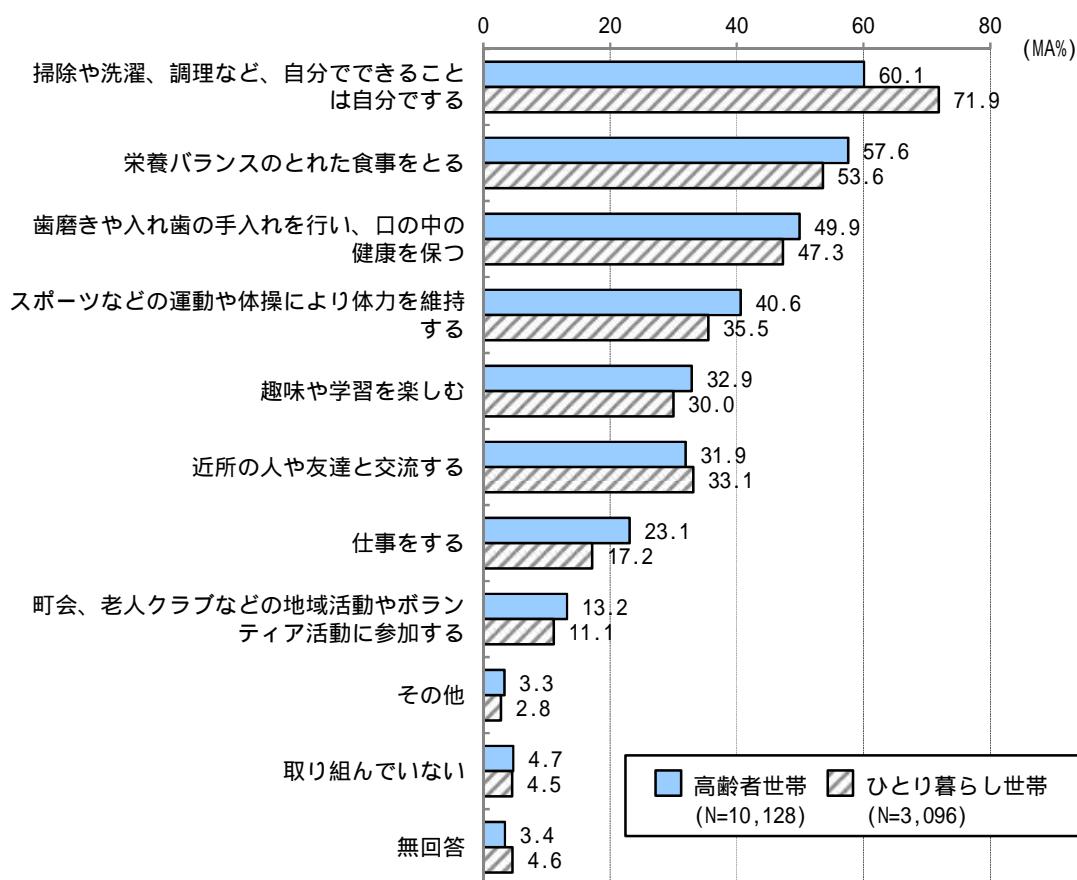


問8 介護予防のための取組み

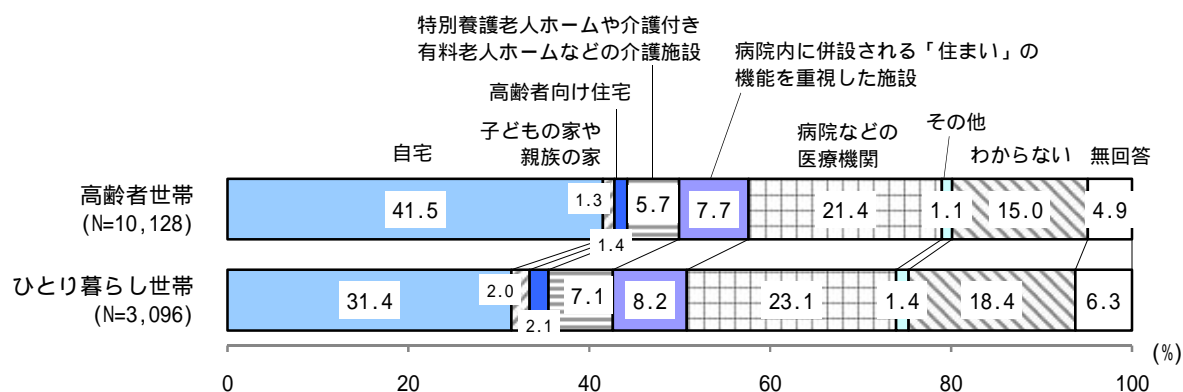
【図8 介護予防のための取組み】



ひとり暮らし世帯の回答者の「介護予防のための取組み」については、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が71.9%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」となっている。高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合は1割程度高くなっている。(図8)

問15 終末期に過ごしたい場所

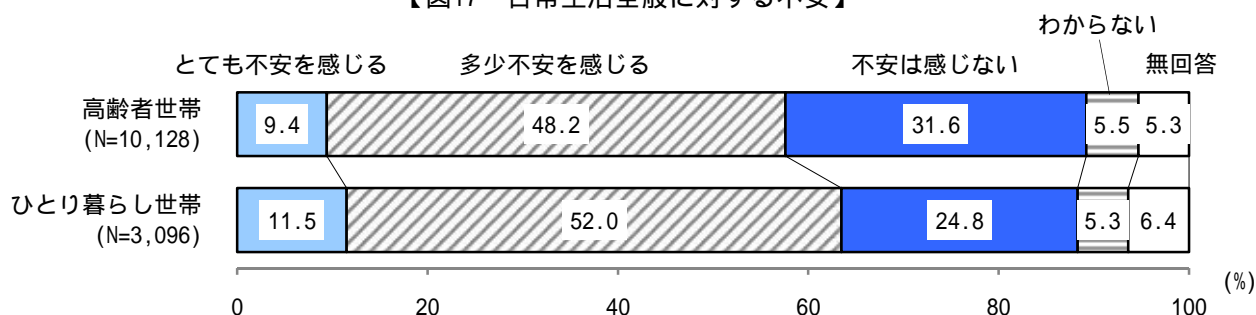
【図15 終末期に過ごしたい場所】



ひとり暮らし世帯の回答者の終末期に過ごしたい場所については、「自宅」が31.4%で最も多く、次いで「病院などの医療機関」となっているが、「自宅」の割合は高齢者世帯全体より1割低くなっている。(図15)

## 問17 日常生活全般に対する不安

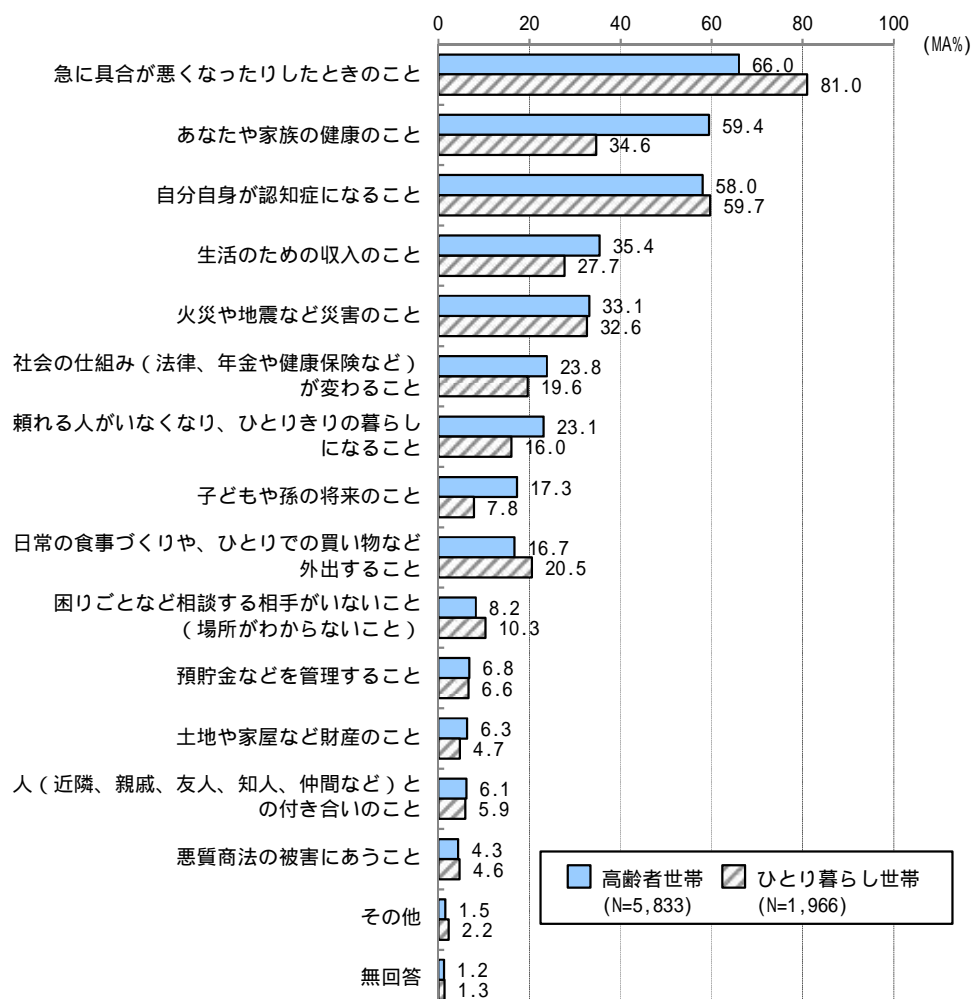
【図17 日常生活全般に対する不安】



ひとり暮らし世帯の回答者の「日常生活上不安を感じるか」については、高齢者世帯全体と比べると「とても不安を感じる」「多少不安を感じる」とも割合が多く、「不安は感じない」の割合が少なくなっており、ひとり暮らし世帯の方が、不安に感じるとの回答割合が高くなっている。(図17)

### 問17-1 不安に感じることの内容

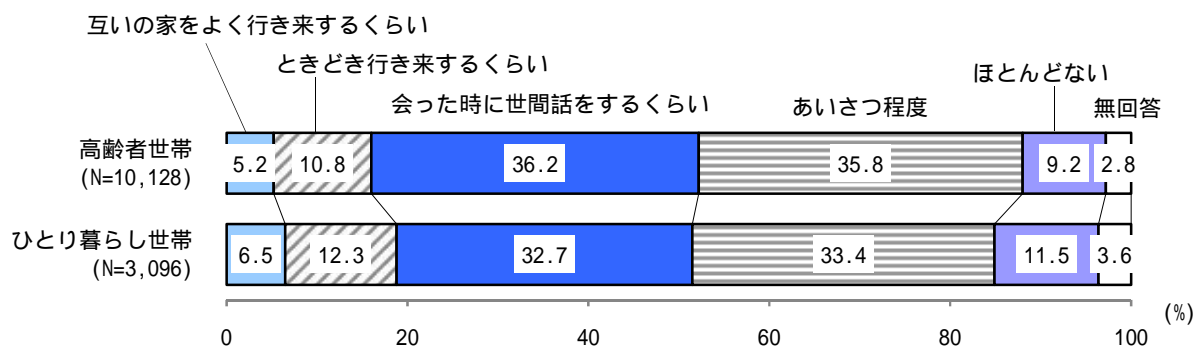
【図17-1 日常生活全般に対する不安】



ひとり暮らし世帯の回答者の「日常生活上不安に感じることの内容」については、「急に具合が悪くなったりしたときのこと」が最も多い回答であり、約8割の方が選択している。(図17-1)

## 問20 近所付き合いの程度

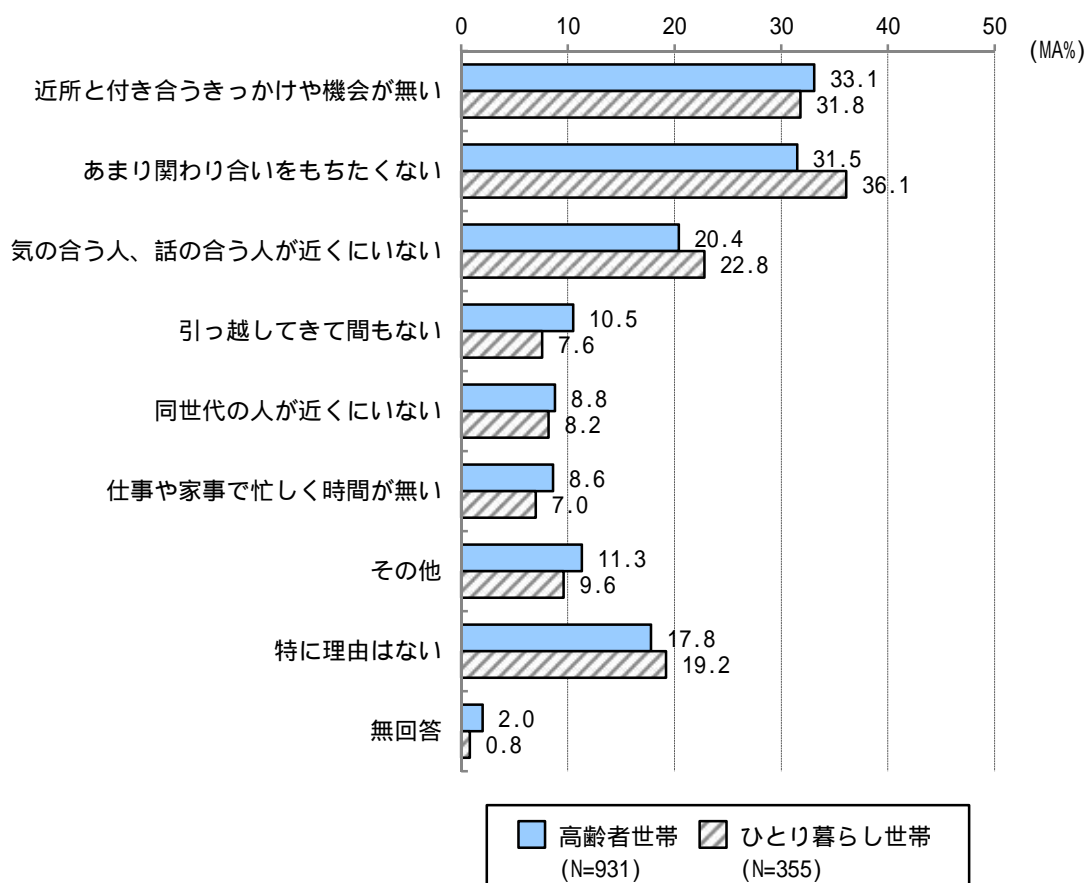
【図20 近所付き合いの程度】



ひとり暮らし世帯の回答者の「近所付き合いの程度」については、「互いの家をよく行き来するくらい」と「ときどき行き来するくらい」をあわせた『近所の方と行き来のある人』については、高齢者世帯全体に比べて回答割合は高くなっている。(図20)

## 問20-1 近所付き合いがほとんどない理由

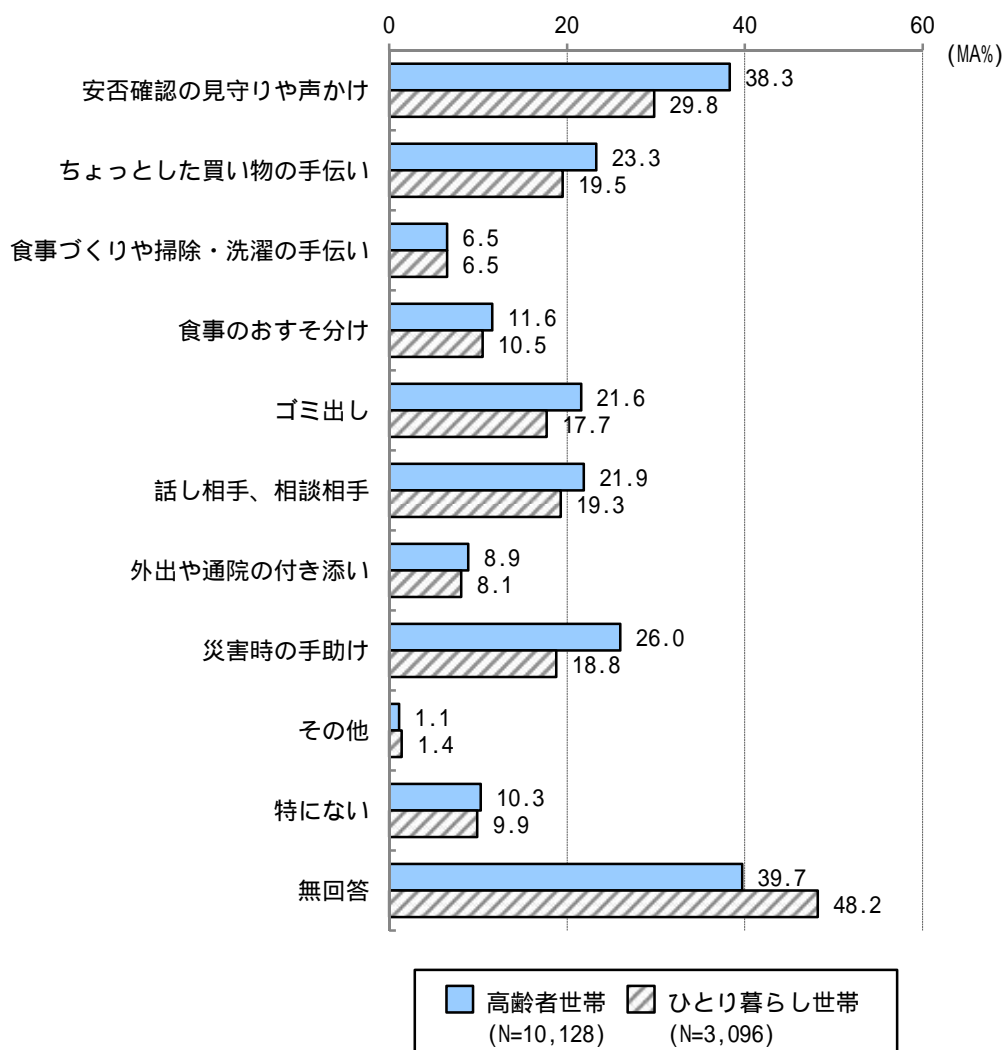
【図20-1 近所付き合いがほとんどない理由】



ひとり暮らし世帯の回答者の「近所付き合いがほとんどない理由」については、「あまり関わり合いをもちたくない」が最も多く、高齢者世帯全体よりもやや高い回答割合となっている。(図20-1)

問21 継続的に参加している団体や集まり

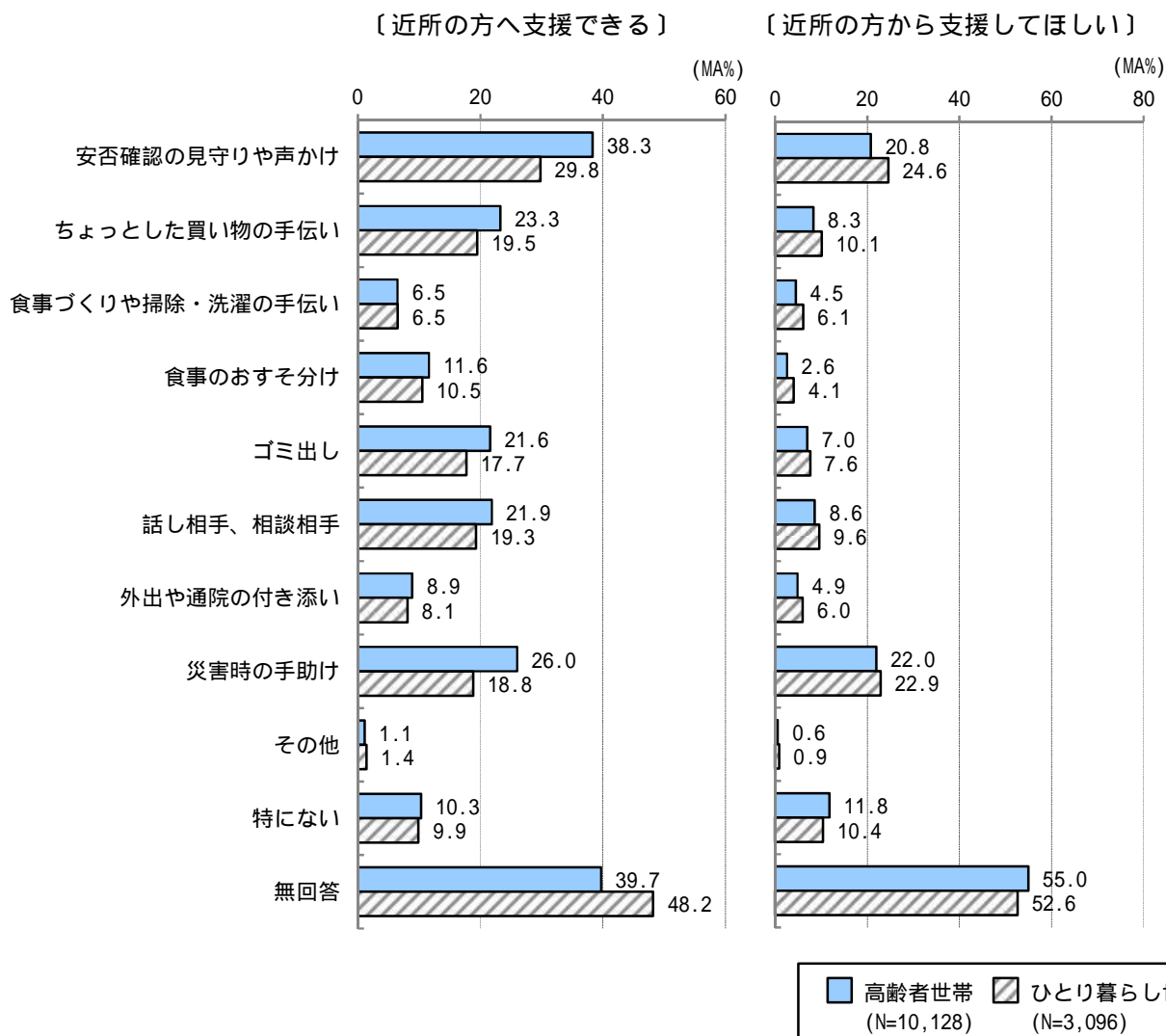
【図21 継続的に参加している団体や集まり】



ひとり暮らし世帯の回答者の「継続的に参加している団体や集まり」については、概ね高齢者世帯と同様の傾向となっており、ひとり暮らし世帯の方が回答割合が低くなっている。(図21)

問23 近隣への支援と近隣からの支援

【図23 近隣への支援と近隣からの支援】

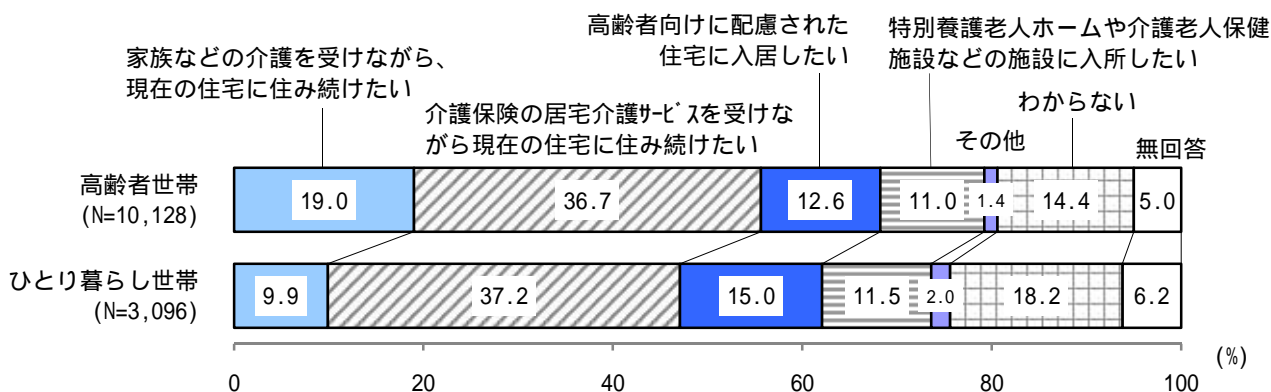


ひとり暮らし世帯の回答者の「近隣への支援と近隣からの支援」について、近所の方へ支援できることについては、高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、いずれもひとり暮らし世帯の回答者の方が回答割合は低くなっている。

近所の方から支援してほしいことでも高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、いずれもひとり暮らし世帯の回答者の方が回答割合が高くなっている。(図23)

問28 介護や支援が必要になった場合に希望する暮らし方

【図28 介護や支援が必要になった場合に希望する暮らし方】

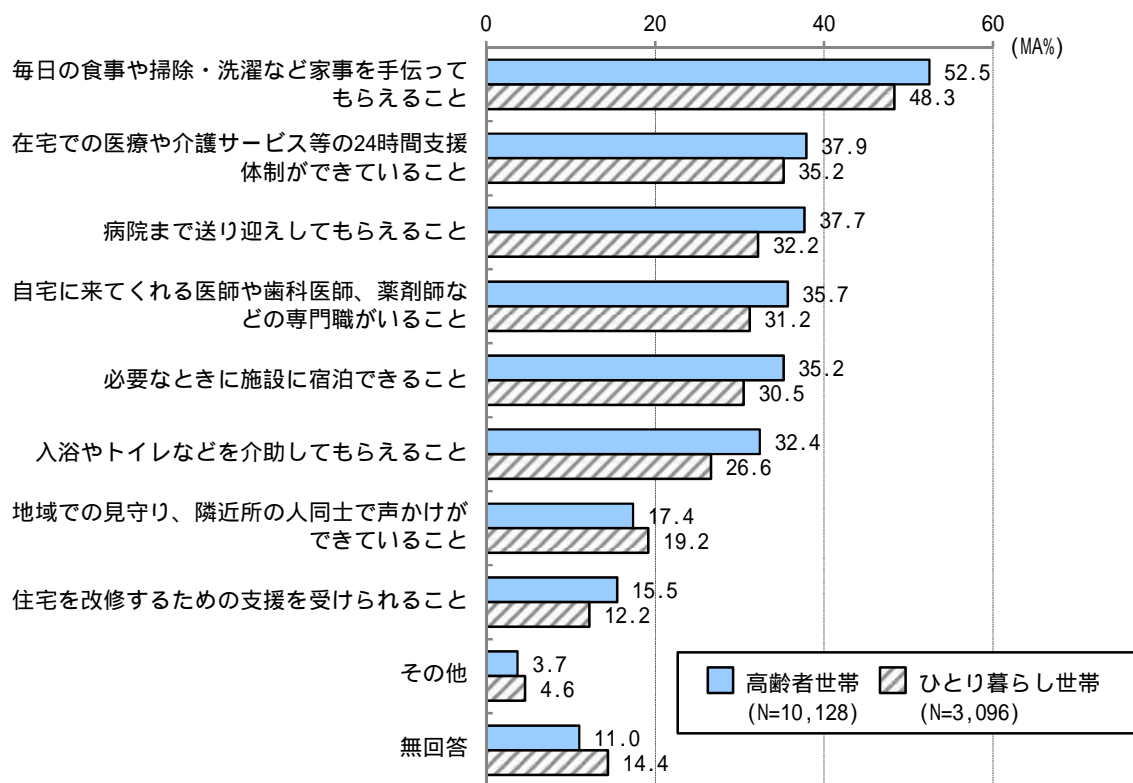


ひとり暮らし世帯の回答者の「介護や支援が必要になった場合に希望する暮らし方」については、「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」は、高齢者世帯全体と比べて回答割合が1割程度低くなっている。

全体的には、高齢者世帯全体、ひとり暮らし世帯とも、在宅希望の回答割合が最も多い。(図28)

問29 在宅生活継続のために必要な支援

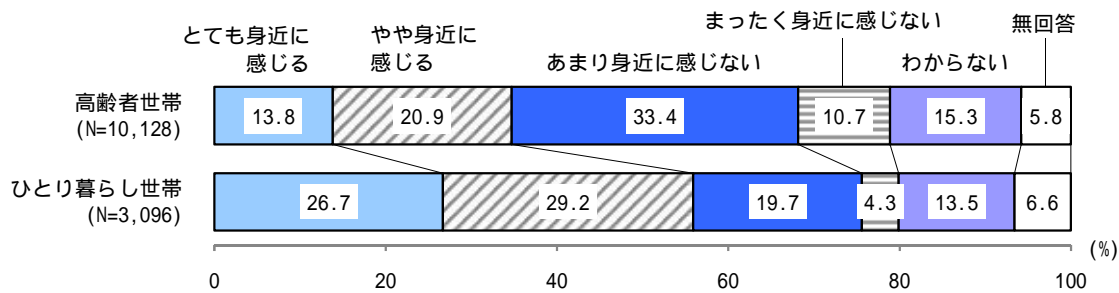
【図29 在宅生活継続のために必要な支援】



ひとり暮らし世帯の回答者の「在宅生活継続のために必要な支援」については、概ね高齢者世帯全体と同様の傾向となっているが、「地域での見守り、隣近所の人同士で声かけができていないこと」については、ひとり暮らし世帯の回答割合がやや高くなっている。(図29)

問36 孤立死について考えること

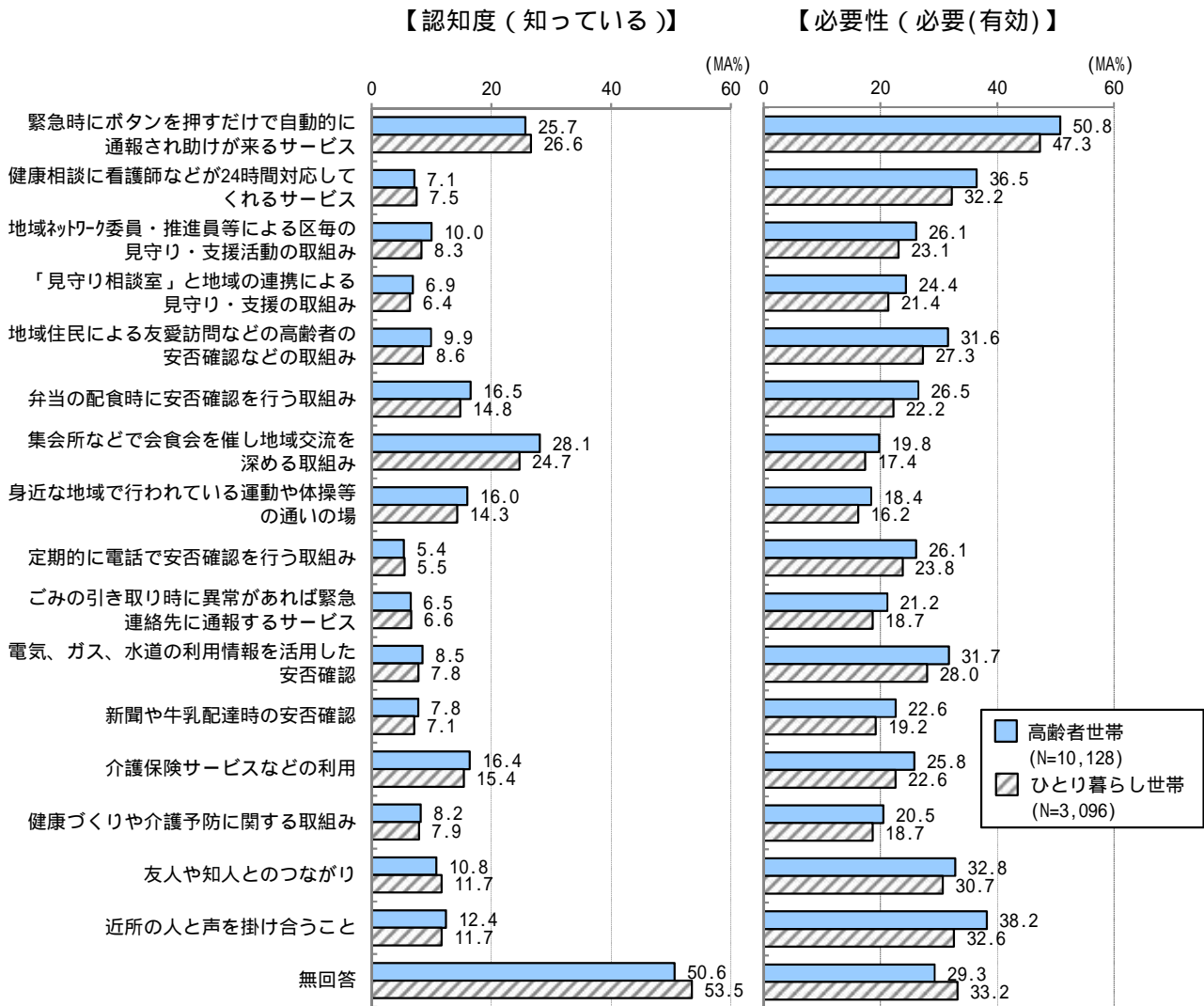
【図36 孤立死について考えること】



ひとり暮らし世帯の回答者の「孤立死について考えること」は、「とても身近に感じる」「やや身近に感じる」をあわせた割合は、高齢者世帯全体が34.7%であるのに対して、ひとり暮らし世帯は55.9%と大きな差がみられる。(図36)

問37 地域での見守り活動の認知度と必要性

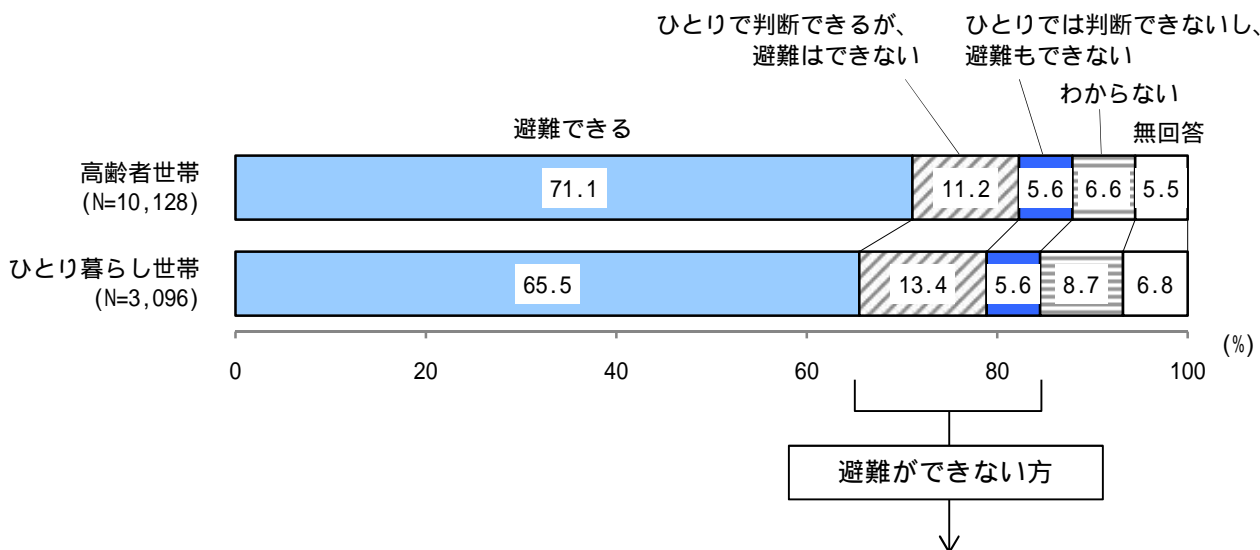
【図37 地域での見守り活動の認知度と必要性】



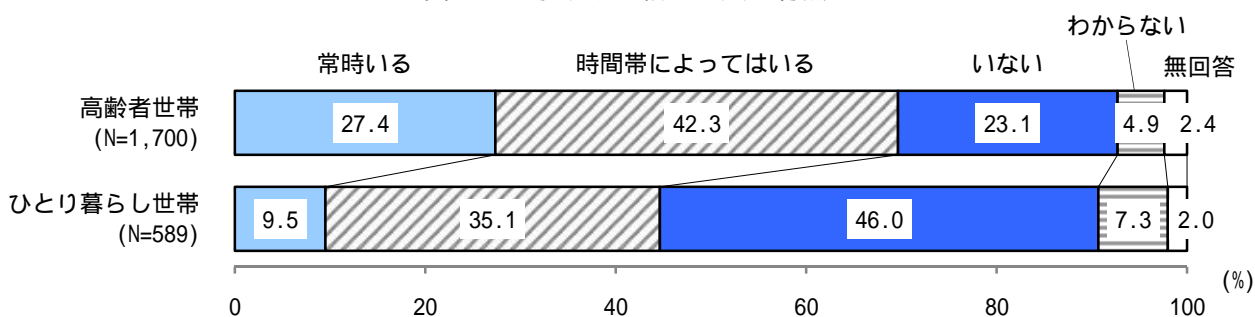
ひとり暮らし世帯の回答者の「地域での見守り活動の認知度と必要性」については、認知度・必要性とも高齢者世帯全体と同様の傾向となっており、概ね高齢者世帯全体より割合が低くなっている。(図37)

問38、問38-1 災害時・緊急時にひとりで避難が可能か・手助けを頼める人の有無

【図38 災害時・緊急時にひとりで避難が可能か】



【図38-1 手助けを頼める人の有無】



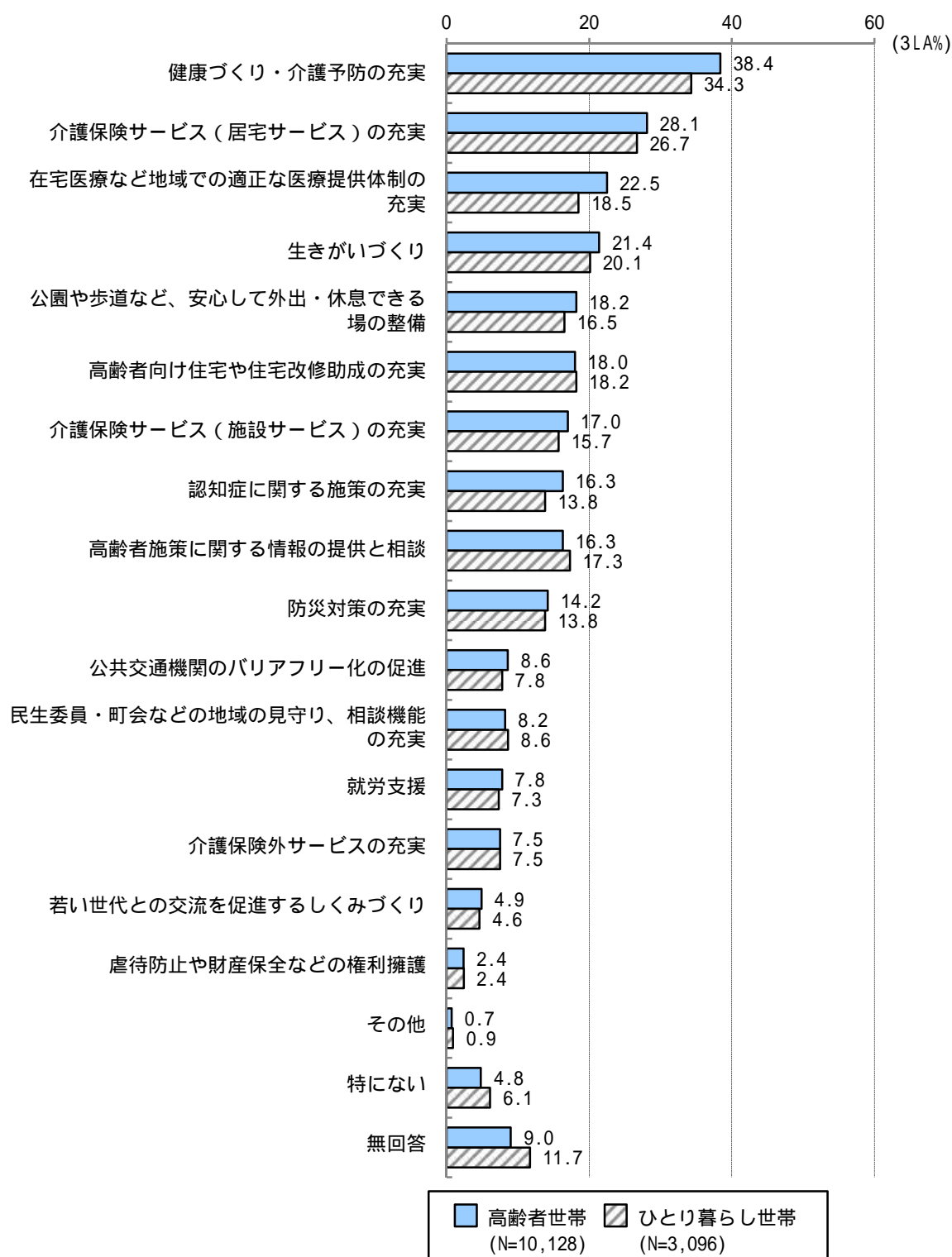
ひとり暮らし世帯の回答者の「災害時・緊急時にひとりで避難が可能か」については、「ひとりで判断できるが、避難はできない」と「ひとりで判断できないし、避難もできない」をあわせた『避難できない』方の割合は、高齢者世帯全体よりも高くなっている。(図38)

また、『避難できない』と回答した人に、手助けを頼める人の有無をたずねると、ひとり暮らし世帯では、「いない」との回答が46.0%であり、高齢者世帯全体の約2倍となっている。(図38-1)



問45 重点を置くべきと考える高齢者施策

【図45 重点を置くべきと考える高齢者施策】



ひとり暮らし世帯の回答者の「重点を置くべきと考える高齢者施策」については、高齢者世帯全体と概ね同様の傾向であるが、「高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実」、「高齢者施策に関する情報の提供と相談」、「民生委員・町会などの地域の見守り、相談機能の充実」、「特にない」において、高齢者世帯全体よりもやや高い回答割合となっている。(図45)